

◇[交野市]都市計画の決定・変更に係る説明会(質疑応答) 平成29年8月5日(土)午前10:00～ 説明会出席者 64名

質疑	回答
居住者は、約4割減歩されて引っ越して欲しいと言われていた。そういったことが許されているのか。	土地区画整理は換地による事業であり、星田北地区・星田駅北地区では乱開発の抑制等から組合事業により一体的に整備を検討されています。 約9割の地権者が事業に賛同されており、交野市としてまちづくりの実現に必要な都市計画の手続きを進めていきます。
4割の減歩で移転補償費も十分でない。私たちに借金を背負えと言っているのですか。交野市の考え方は。	減歩は公共用地や事業費を確保するために必要で、補償費は地権者毎に調査し説明されます。減歩率は従前の位置や換地先等により違い、全員が4割ではありません。 個々の補償費や減歩率は、準備組合と各地権者でお話していただけるものと考えています。
事業により五年間耕作できないと聞いている。今現在の食糧需給率、生態系等を全然考えていないのではないのか。	準備組合で休耕期間中の耕作の代替案を検討されています。 様々な意見がありますが9割の方がまちづくりに賛同され、市は都市計画を進めていくと判断したものです。
新しい都市計画決定道路は以前の説明からなぜ変わったのか。	神出来交差点は、事業による発生交通量を調査し継続して必要な整備を検討・協議をしていく予定です。
事業で農地を移ると田の土を移動しても1～2年は沈む。高齢になり農業が出来なくなる中で、都市農業を守る必要もある。交野市としての考えを教えてください。	農地に関する件は、準備組合の中で議論をお願いします。 都市農地の話はありますが、9割の方がまちづくりを進めようとして、準備組合で農地ゾーンの集約などを含めて土地利用を検討されています。
第二京阪沿いは流通倉庫だらけで、巨大倉庫群がにぎわいのまちづくりなのか。	物流系のニーズが高いことや商業施設等は交通渋滞の可能性が高いことなどを考慮すると、市としては地区の特性に配慮した検討であると認識しています。
トラックの交通量を検討しているか。	具体的な進出企業が決まっていますが、既存の周辺道路に負担をかけない様に検討中と聞いています。
周辺住民への説明は。	前提として地権者の合意形成により組合が設立され、事業が進むものであり、市民への周知は市として都市計画について説明を行っていきます。
環境基本計画では「暮らしの憩いの場」とあるが、計画の整合性について教えてください。	今回のまちづくりでは公園や緑地等の憩いの場を設けることを検討されています。
市は道路・公園整備に税金を拠出するのだから1円でも減らすために現道の高田線を広げればよいのではないのか。	主に事業費は地権者の減歩が充てられ、また、良好な市街地整備や都市計画道路等の公共施設整備に対する国・府の補助メニューと、市もこれに協調して補助金を支出予定です。 都市計画道路で安全で良好なネットワークを形成し、周辺道路への負荷軽減のため、高田線は現状では付け替えを検討されています。
準備組合の中で駅前ロータリー部分は今後検討するという話からいけば、都市計画の区域に入っているのはフライングではないのか。	都市計画で定める土地区画整理事業の内容は、事業を実施しようとする区域を指定するものであり、最終的な事業区域は準備組合で決定されます。
北側既存住宅が面が残っているがなぜ区域から除くのか。	既存の住宅地は一団の面として既に土地利用されていることから、事業の成立性や、土地の利用増進が図れないということから区域除外されている。
最初の2人の質問に対し準備組合で対応してくださいと言っていたが、市として責任を持って対処すべきと思うので、意見として、考え方を改めていただきたい。	ご意見として伺います。
準工業地域の範囲が非常に多いが割合はいくらか。	準工業地域が約64%です。
星田駅前線は枚方市域までであるにもかかわらず、枚方の都市計画に出ないのはどういうことか。	交野市域でのまちづくりに必要と考え、一体的に交野市の都市計画として手続きを進めます。

質疑	回答
星田駅前線の事業費はどこが負担するのか。枚方市の部分を交野市が負担するのは納得できない。	区域の外側は交野市で整備していくことを考えていますが、費用負担は今後枚方市と協議していきたいと考えています。
法的には2/3でも大阪府は基本100%同意を求めているのに、まだ反対がある中でなぜ交野市として進めていくのか。	100%に近い同意率の取得を目指して両準備組合で取り組まれています。現時点でも9割の方が同意されており、市として手続きを進める判断をしたものです。
枚方市域の高田線拡幅について1万人近くの署名活動にしようと考えられていることについて、交野市としてどう考えているのか。	両準備組合で、機能確保も含めて引き続き検討されると聞いています。
大林の部長と戸田の部長が裏で枚方の住民と密約して既存の道路を残す話が進んでいると聞いているが。	密約との話は市が知る由もないので回答は差し控えます。
道路について、安全を考えるならくねくねした道より現在のようなまっすぐな道が安全ではないか。	両地区のまちづくりの中で周辺状況を踏まえネットワークとして整備をしていくとの考えです。星田高田線はまちづくりにあたり、雨水や下水処理の関係で盛り土をする必要があるため、道路を今のままで残すことが難しい中で、現在の案をベースに検討されています。
星田駅の近くの借家にお年寄りの方がおられ、駅を利用し病院に通われている。このような弱い方に対して何か考えているのか。	高齢の方で移転を余儀なくされる方がいることは認識しており、準備組合の中で十分に対応を考えて頂くとともに市としても協力していきます。
現在交野市は480億以上の借金。さらに30億の借金を追加することになる。星田駅前線は何億円かかると見込んでいるのか。	整備費は星田駅前線や駅前広場、今回都市計画としては変更しないが星田北中央線部分などを含めた試算として、13億円を想定しています。
住宅地が増えることによる学校・保育所等の設置は検討しているのか。	学校については、老朽化や将来的な児童減少を想定し、「学校規模の適正化」を他の部署で並行して検討しています。駅北地区内での保育所は運営企業を探していただいています。
駅前線の延伸の枚方市側は交野市の予算でやりますはいいが、神出来交差点の先が今回無いが。	今回都市計画としては位置づけせず、今後の交通量等をみながら継続的に検討していきます。
良いまちづくりを行いたいのであれば、神出来交差点の先をまっすぐ通す必要がある。	ご意見として伺います。
公聴会の傍聴希望は申込みなしでできるようにしてほしい。	規定の中で決めているので事前の申込みをお願いします。
地区計画の意見書提出はホームページで公表するのか。市の意見はいらぬ。出された意見をそのまま出すべき。	地区計画の意見書については市の見解と合わせてホームページに掲載を予定しています。